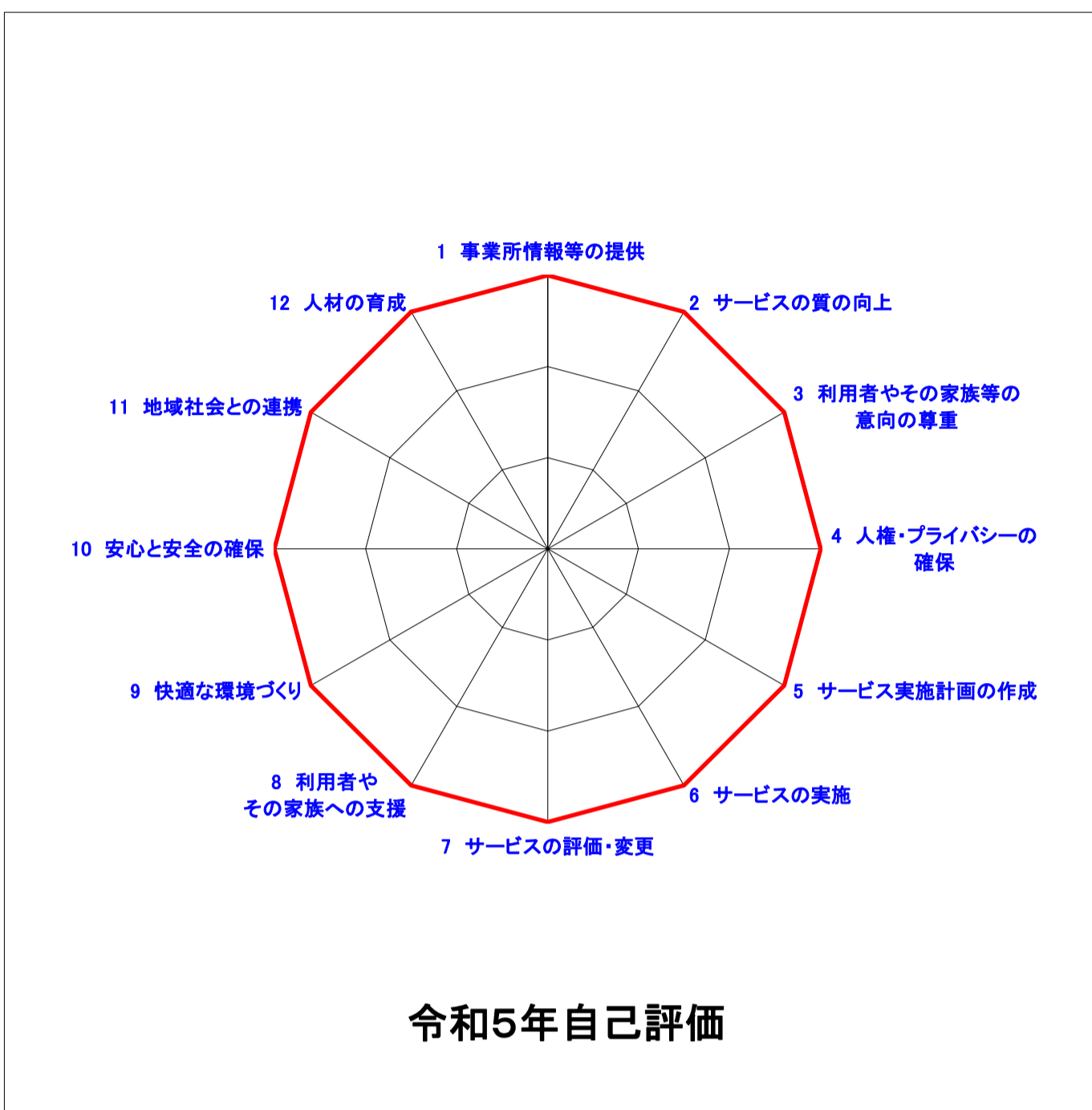




ユニット型 特別養護老人ホーム はなみずき
(事業者番号: 1272602143)

介護福祉施設サービス

事業者名 社会福祉法人 清明会		
事業所名 ユニット型 特別養護老人ホーム はなみずき		
サービス名 介護福祉施設サービス		
評価委員構成 施設長 近藤 健司 提供責任者 瀬野 誠 相談員 小島 美寿々 ケアマネジャー 菅野 孝彦 ユニット長 中山 雄一 猿田 侑子 野沢 知子		
評価手順 令和6年1月13日 第1次評価 評価委員各自で評価 令和6年1月16日 第2次評価 検討会で評価 令和6年1月17日 第3次評価 施設長 副施設長 提供責任者で評価		
自己評価年月日 令和6年1月17日		
評価責任者 役職名 施設長		
評価責任者 氏名 近藤 健司		



事業所の運営			
1 事業所に関する情報等の提供			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記 基本理念・基本方針を掲示している。また、各部署に配布及び、新人オリエンテーション、年度末に行う、寮父母会議で周知している。			
2 サービスの質の向上			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記 意見箱の設置やアンケート、人事考課を行い意見を収集する取り組みを行っている。また、施設内研修にも取り組んでいるが、コロナ感染予防対策継続している為、オンライン研修への参加を行っている。			

利用者の尊重・保護			
3 利用者やその家族等の意向の尊重			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記			
担当者会議は家族に参加を呼び掛けているが、コロナ感染予防対策継続の為、施設行事の家族参加は中止し、面会は1階で30分の制限を設け実施している。家族の意向は随時お聞きし、取り入れられるよう検討している。			
4 人権・プライバシーの確保			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記			
個人情報については、家族へ説明し、同意を得ている。使用時には、重々な配慮を持って行っている。身体拘束は、拘束ゼロに向けて取り組んでおり、やむを得ない場合のみ、家族へ説明し、同意を得ている。			
サービス実施過程の確立			
5 サービス実施計画の作成			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記			
ケアカルテ内の申し送り(赤字で表記)や事務連絡を回覧し、周知している。また、職員間で連絡ノートを活用し、処遇の統一に努めている。			
6 サービスの実施			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記			
各業務についてのマニュアルの他に、手順書の作成、更新に取り組んでいる。担当者会議及びモニタリング等で、意向を確認し、目標達成に努めている。			
7 サービスの評価・変更			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記			
3か月ごとのモニタリング表を活用し、各職員より情報を収集し、評価及び見直しを行っている。			
サービスの適切な実施			
8 利用者やその家族等への支援			
サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
利用者の好みにあわせた理・美容への支援を行っている。	A	B	C
余暇活動や生きがいがづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C
「利用者やその家族への支援」に関する特記			
外出や外泊が出来ることを家族に伝えているが、コロナ感染予防対策継続の為、外出、外泊は制限している。面会は、30分少人数で行っている。イベントは縮小し、内部で活動し、サークル活動は少人数で、実施している。			

9 快適な環境づくり			
快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C
「快適な環境づくり」に関する特記			
利用前に使用していた家具や、馴染みのある物を持ち込んで頂き本人や家族の意向に合わせたお部屋のレイアウトを行っている。 電話については、1階事務所に公衆電話を設置している。 また携帯電話を所持している方は居室で使用している。			
10 安心と安全の確保			
事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C
「安心と安全の確保」に関する特記			
設備担当を中心に、定期的に点検を行っている。発生したヒヤリハットや事故は報告書の回覧により周知している。月1回事故対策委員会を開催し、対策や分析結果を、ユニット会議で再周知として伝えている。また都度家族への状況報告も行っている。			
地域等との連携			
11 地域社会との連携			
事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C
「地域社会との連携」に関する特記			
地域交流センターかすみ草を中心に、地域、渉外、広報を中心に地域へ向けた支援、取り組みを行っている。月に1回会議を行い、コロナ禍の為、ボランティアの受け入れは中止しているが、地域合同買い物会は月2回、人数制限を設け実施している。			
12 人材の育成			
実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
「人材の育成」に関する特記			
介護福祉士、介護職員初任者研修、実務者研修等の資格取得に向けた実習生の受け入れを行っているが、コロナ感染予防対策を継続している為、中止を余儀なくされた。1部リモートでの実習受入を行った。			
総評			
評価は概ね出来ているが、新型コロナウイルス感染防止対策を優先している為、様々な制限が発生している。感染症対策に留意し行事内容の工夫や外部の参加を制限するなど、規模を縮小し、少しずつ実施を再開している。面会は、地域の感染状況をに合わせ、面会方法の緩和を図っていききたい。今後、感染予防対策を踏まえ、更なる新たな生活様式を取り入れ、サービスの継続、向上及び改善に努めていきたい。			